札幌美術展
わたしと世界のはかり方 見どころガイド
往還する抽象絵画

どんな展覧会？

北海道にゆかりのある 11 名の作家による抽象絵画展です。今回鑑賞する作品は、見たものがそのまま描かれているのではなく、形や色、線などを組み合わせて作家ならではの表現で作られています。それらの作品は日々の出来事や感情など、作家が感じとった体験によって生まれたものです。作家が描いた世界のあり方にふれて、何かを思い出したり想像したり、あなたの気持ちの動きを楽しんでみてください。

〈出品作家〉
難波田龍起、小谷博貞、林亨、佐佐木方斎、山本雄基、笠見康大、
高橋佳乃子、花田和治、杉山留美子、坂東宏哉、上野憲男



林亨《心を浮かべて〈そらのもり〉》2022 年
アクリル、コラージュ、キャンヴァス　作家蔵

見どころポイント！

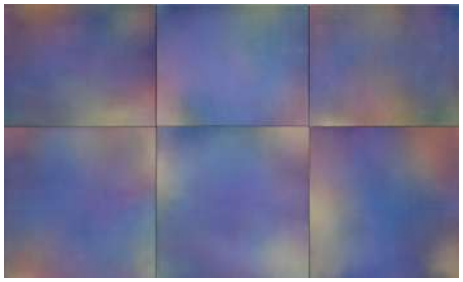
作家によって筆や絵の具の使い方はさまざまです。どんな技法や素材からできているか、作り方にも注目してみてください。そして、もし自分が作品を作るとしたら、どうやって表現するか一緒に考えてみましょう！

3つのわざチャレンジ！



高橋佳乃子 《ローズバイオレットとローズピンク》
2022 年　油彩、キャンヴァス 作家蔵



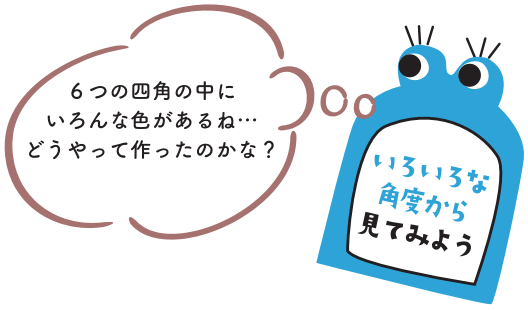


杉山留美子 《HERE・NOW あるいは妙光》
2004 年　アクリル、キャンヴァス 札幌芸術の森美術館蔵



花田和治《月夜》1982 年　油彩、キャンヴァス
北海道立近代美術館蔵





※掲載画像は出品作品と異なる場合があります。